

香川大学学長

初めまして。私が香川大学学長の一人井です。少子高齢化の波を受け、大学がその存続をかけて大幅な改革を求められている現在、国立大学といえど自らの魅力を打ち出すことが必要となってきました。われわれ香川大学も例外ではありません。

香川大学が目指すのは、1つは「地域に根ざした学生中心の大学」であること。もう1つは、「出口から見た教育のできる大学」であることです。

大学の中心は、なんとといっても学生です。学生が自ら考え、自ら行動し、自ら検証していくことを一人ひとりができるようにすること。それをサポートしていくために教授陣や教職員が存在すると考えています。大学で学ぶべきことは「用意された質問にいかにか上手に回答するか」ということではありません。専攻科目は知識を丸暗記するためでなく、その内容を通して自らどう考え実践するか、その一連の行動を支えるための素材です。ものごとの課題点を見つけ、解決するための方法を探り、実際に実行していく。それがすべて人間としての力、自分の道を自分で切り開くバイタリテイとなるのです。

最終的に、社会に出て自分の道を切り開くべき時がやってきた時に、ああ、香川大学で学んでよかった、ここを卒業してよかったと思ってもらいたい。「出口から見る」というと、ついつい即戦力になるようなイメージがありますが、私はそこまで、社会が甘いところだとは思っていません。そうではなく、大学にいるうちに課題を見つけ出し、その対策を練り、実行すること

一井眞比古

学長がもつと身近になる！

一井学長への10の質問

Q1 家族構成について教えてください。

4人家族ですが、息子2人は独立して家を離れているので、現在は妻と愛犬とで生活しています。

Q2 趣味は何ですか？

昔から囲碁が好きですが、学部長になった頃からは忙しくてやってないですね…。

Q3 お休みの日は何をして過ごしていますか？

車で景色のいいところへ行くことが多いかな。大串半島が好きなんです。折りたたみのイスを持っていつてのんびり景色を眺めます。気分転換をかねて妻といっしょに買い物に行くこともありますよ。

Q4 尊敬する人は誰ですか？

うーん、そうですね、ダーウイン。「進化論」は今読んでもすごいと思います。

Q5 大学内で好きな場所ってありますか？

幸町キャンパスには最近来たばかりだからまだあまり歩いていないんですが、図書館へのアプローチや広場の雰囲気は好きですね。

いまこの瞬間も、10年後にも、
「入ってよかった」と思える
香川大学をめざして。

で答えを導きだし、自分なりに検証する。そういつたロジカルな思考力をつける訓練をしてほしいと思っっています。そうすれば、社会の中でどうすればいいかわからない状況にぶつかった時にも、いま求められていることは何か、どう解決すればいいかを考える術がわかる。香川大学出身者にはそんな人としての力がつくことを望んでいます。そのためにも、質量ともに恵まれたこの大学の環境を利用してほしい。豊富な研究者や施設を利用した少人数教育など、大学側もできる限りのバックアップをする予定です。

今まで日本の教育は多様性の重要性を説きながら、実際には多様性が生まれるような行動をとってきませんでした。私の専門である生物学の話をする。と、集団が均一化しすぎるとその集団は環境の変化に弱く、やがて滅亡するということがあるんですね。大学をひとつの集団とするなら、自分で考えて議論する、違う意見を取り入れる、そういう「他者との違い」を受け入れ、交換し合うことが大切なのではないかと思えます。文系から理系までの幅広い学部、教授陣、教職員の豊富さや多様性は、国立大学であり、総合大学である香川大学の強みです。このメリットをどんどん学生たちも活かしてほしい。学生がこれからの長い人生を前に、人生を考える場として大学は存在しているわけですから。香川大学の学生たちがもっと熱くなれるチャンスを、私たち大学側ももっと用意していきたいと考えています。

Q6

好きな本を1冊あげて下さい。

デズモンド・モリスの「裸のサル」かな。生物学的に人間の行動を観察・分析している興味深い本です。

Q7

では好きな歌は？

そうですね、、、カラオケでは石原裕次郎の「北の旅人」をよく歌いますよ。

Q8

好きな食べ物は何ですか？

好き嫌いは全くないんですよ。中でも肉、ステーキが好きですね。

Q9

子どもの頃なりたかった職業は？

外国航路の船長。地元が神戸だから近くに商船大学があったので、その制服がかっこ良かったので(笑)。

Q10

では最後の質問です。もし生まれ変わったらどんな人生を歩みたいですか？

せっかくだから、同じ人生は歩まないかな。民間企業に入ってみるとか。でも人間が好きだから、人と関わることをしたいと思います。